

2012年11月12日

油性向上添加剤「ルブアップHS」を開発

～高温状態の船舶燃料油において、少量の添加で優れた潤滑性を実現～

環境対策という観点から、IMO(国際海事機関)などにより制定される低硫黄燃料油使用義務海域は2011年より段階的に拡大する傾向にあります。

燃料油の低硫黄化は船舶より排出されるSoxの減少には寄与しますが、ディーゼルエンジンの燃料系統のポンプや噴射バルブの摺動部の磨耗増加が懸念されております。

このような状況の中、当社は株式会社商船三井 技術研究所の御協力を得て、約2年前より油性(潤滑性)向上剤の開発を行ってまいりました。

この度、実験室レベルではありますが、添加剤無添加の低硫黄燃料油に今回開発した油性向上剤を添加した所、HFRR 往復磨耗試験機、高速四球試験機、及び株式会社商船三井で開発された独自の往復磨耗試験機を使用したすべての試験で金属接触部分の磨耗が少ないことを確認致しました。株式会社商船三井の往復磨耗試験機では、エンジンの状況を勘案した高温での試験条件においても優れた潤滑性を発揮することを確認致しました。

製品名 : ルブアップ HS

標準添加量 : (ルブアップ HS : 燃料油) = 1 : 10,000 ~ 1 : 5,000

[株式会社商船三井\(プレスリリース\)](http://www.mol.co.jp/) <http://www.mol.co.jp/>

以上